



海外感染症情報

情報源：

厚生労働省検疫所ホームページ

(<http://www.forth.go.jp>) 新着情報

発生地域	更新年月日	情報内容
アフリカ	2015年08月18日	エボラ出血熱の発生状況（第33週）
—	2015年08月19日	中東呼吸器症候群（MERS）の発生状況（更新60）
東アジア	2015年08月17日	韓国における中東呼吸器症候群（MERS）の発生状況（更新36）
中南米	2015年08月14日	アメリカ大陸でのコレラの流行状況（更新3）★

★【2015年08月14日更新 アメリカ大陸でのコレラの流行状況（更新3）】

* 抜粋

コレラは、コレラ菌によって、下痢や嘔吐が生じる病気です。症状が軽いこともあります。が、重い下痢が起こることもあり、大量の水分が失われ、脱水から死亡することがあります。

2015年8月12日付で汎米保健機関（PAHO）よりアメリカ大陸でのコレラに関する情報が発表されました。

●アメリカ大陸でのコレラ発生状況

2015年の初めから第30週までに、アメリカ大陸3か国から20,388人の患者が記録されています。内訳は、ハイチで20,043人、ドミニカ共和国で344人、キューバで1人です。これまでのところ、2015年にメキシコからはコレラ患者は報告されていません。

（ハイチ、ドミニカ共和国及びキューバの詳細な発生状況は省略）

これらの流行地へ渡航、滞在される方は、今後の情報に注意していただくとともに、以下の対策を行ってください。

➤飲料水や歯みがき、うがいの水にはミネラルウォーターを使うか、十分に沸騰させた水を使うこと。氷は生水から作られている可能性があるため食べないこと。

➤食事は加熱されたものを、冷めないうちに食べること。

➤食事の前、トイレの後には石けんと水で十分に手洗いすること。

➤下痢になった場合、以下の作り方で作った水を十分にとり、できるだけ早く医療機関で診療を受けること。

*吸収のよい水の作り方

水1リットル+ティースプーンで砂糖6杯+塩1/2杯(涙のような塩かげん)

*下痢止めはむやみに服用しないでください。服用することで症状が悪化することがあります。

